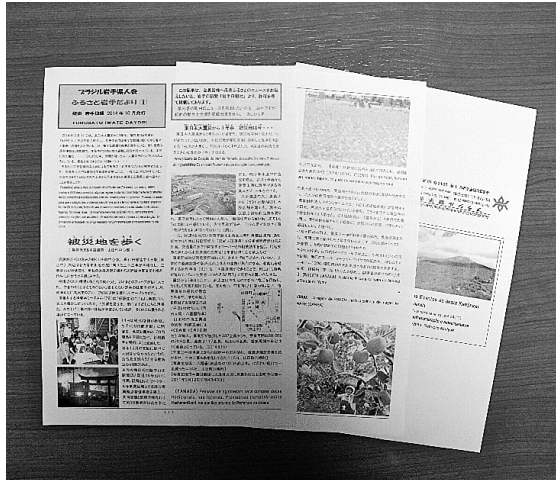


本紙記事 ブラジルへ



ブラジル岩手県人会（千田曠^{ひろあき}会長）は、本社の提供記事で編集した「ふるさと岩手だより」を発行した。会員、南米の岩手県人会に向けて、故郷の出来事や東日本大震災からの復興の歩みを伝えようと企画。本社も紙面への寄稿などで交流を深めていたブラジル県人会の依頼を受け、全面的に協力して実現した。

現地県人会が「岩手だより」

岩手日報

社報

第488号

編集発行

岩手日報社
総務部

盛岡市内丸3-7

インフルエンザ
予防接種に補助
受け付け始まる
インフルエンザの予防

接種の半額補助が11月から始まった。社員本人のみが申請でき、家族は対象外。医療費補助の申請用紙に予防接種と明記し

た領収書を添付し、庶務係に提出する。流行期に備え、積極的に補助を活用してほしい。
(総務部)

発行に協力、交流深く

ブラジル岩手県人会が本紙記事の提供で発行した「ふるさと岩手だより」

10月発行の第1号（6ページ）は、企画「被災地を歩く」など震災関連の記事をはじめ、パラグアイ入植者の50年ぶりの岩手町帰郷、盛岡秋まつり、リングの収穫風景など本紙の記事、写真をそのまま掲載。各記事の要旨をポルトガル語でまとめている。250部印刷し、会員のほかパラグアイ、アルゼンチンの岩手県会にも送った。

ブラジル県人会は今年、サッカーのワールドカップ（W杯）に合わせ、会員らが分担して本紙に「サッカーW杯便り」を6回にわたり寄稿し、開

復興状況などを会員に伝えたいとの声が県人会内で高まっていたという。千田会長は「岩手の実情を伝えることができ、会員から感謝の声が届いている。故郷や祖国への思いは永遠に衰えること

ない」とあらためて感じた」と継続に意欲を示している。

「ふるさと岩手だより」は、同県人会HP（attip://www.iwate.org.br/）にも閲覧できる。

運転適性を判定
今年もテスト実施へ
安全衛生委員会（委員長・野口純常務）は、車両事故防止を目的に全職員を対象とした安全運転適性テストを実施する。2013年度に続き2回目の実施で、判定結果を一人一人に配布し、業務や私生活でハンドルを握る心構えを高めてもらう。

調査要を順次、各職場に配布し、年内に回収して判定する予定。
(委員会事務局)